

## 2024年度フィールドスタディ・地域活性化論実施報告(ホームページ掲載)

科目名	フィールドスタディC	教員名	新宅 純二郎
実習先	栗田工業株式会社、中外製薬株式会社		
実習期間	2024年5月～6月		
テーマ	ものづくり現場の観察		

## 目的(実習のねらい):

- 調査対象について、事前調査のために、適切な文献・資料などを収集整理する能力を身に付けること。
- 収集した文献・資料をもとに、現場観察につながる課題設定ができること。
- 現場で聞いたこと、見たことなどを、フィールドノートとして詳細かつ正確な記録を残すこと。
- 事前学習とフィールドノートをもとにして、適切なレポートを作成できること。

## 実習報告:

## A) 栗田工業株式会社

栗田工業は、水処理ビジネスを主たる事業としており、とりわけ、半導体工場向けの超純水ビジネスでは、国際的に強い競争力をもった企業である。本実習では、栗田工業のビジネスの仕組みを理解しつつ、実際の水処理の仕組みや工夫について理解することを目的とする。

そのため、まずは、栗田工業の展示場と研究所がある昭島を訪問して、この会社や事業についての事前知識を仕込んだ上で、岩手県北上市にある半導体工場に隣接した水処理工場を訪問した。

日程は、以下の通りである。

## 1) 5月28日(火) 13:00～16:00

訪問場所：栗田工業 昭島 クリタイノベーションハブ

参加者：9名

スケジュール

- ① テクニカル・イノベーション・センターで、基礎的な技術についての発表と見学
- ② テクノロジー・イノベーション・センター(研究所)で、どのようにして研究開発に取り組んでいるかを見学。
- ③ 会議室にて、栗田工業のビジネスモデルの変遷について講義と質疑

## 2) 6月5日(水) 13:00～16:00

訪問場所：栗田工業北上事業所

参加者：7名

スケジュール

13:00～13:30 会議室にて当事業所の簡単な紹介

13:30～15:00 工場棟の見学

15:15～16:00 会議室に戻り、質疑応答

#### B) 中外製薬株式会社

中外製薬は、バイオ医薬、とりわけ抗体医薬品では日本でトップの企業である。スイスの大手医薬品企業であるロシュが 2001 年に資本参加してグループ入りしたが、その後も、独自の医薬品開発を継続し、ロシュ開発の医薬品を日本で販売すると同時に、中外製薬開発の医薬品をロシュの海外販売網で販売し、日本の医薬品企業の中でトップクラスの利益率をあげている。

本実習で訪問した浮間事業所は、バイオ医薬品の開発と量産立上げ工場が同居する重要な拠点である。そこで、どのようにしてバイオ医薬品を量産しているか、生産面でどのようなところに競争力があるのか、開発部門とどのように連携しているのかについて、見学して学習した。

訪問場所：中外製薬浮間工場

訪問日時：6月25日（火） 14:00～16:00

参加者：7名

スケジュール

14:00～14:15 浮間工場紹介

14:15～14:45 UK3 紹介

14:45～15:15 UK3 見学

15:15～16:00 質疑応答

#### 成果：

研究開発、製造の現場を実際に見聞することによって、現場でどのような問題が起きて、それをどのように工夫して解決しているかを、身をもって理解することができた。学生は、インターンでもこのような本当の現場にはめったに行くことができる機会がないので、貴重な経験であった。

また、現場見学をベースにして、フィールド調査ノートをどのように作成するかについても、実地学習することができた。

#### その他：

参加した経営学部の学部生が「やはり現場を見なければ分からないことがたくさんあるんですね」と語っていたのが印象的であり、狙った通りの成果であった。

以上

新宅 純二郎 特任教授